



古し
と
と



新撰冬 志作... 待...
 玉葉三 新撰冬... 待...
 山家集上 中く... 待...
 大和物語 目... 待...
 拾玉集五 又... 待...
 風雅冬 初... 待...
 新拾冬三 何... 待...
 新拾冬二 何... 待...
 拾玉集八 今... 待...
 玉葉三 今... 待...
 新撰撰受 今... 待...
 新撰拾冬 今... 待...
 風雅雅下 今... 待...
 伊勢物語 今... 待...

新撰冬 志作... 待...
 玉葉三 新撰冬... 待...
 山家集上 中く... 待...
 大和物語 目... 待...
 拾玉集五 又... 待...
 風雅冬 初... 待...
 新拾冬三 何... 待...
 新拾冬二 何... 待...
 拾玉集八 今... 待...
 玉葉三 今... 待...
 新撰撰受 今... 待...
 新撰拾冬 今... 待...
 風雅雅下 今... 待...
 伊勢物語 今... 待...

雑歌

新撰拾遺春 山城の山の中を歩くと
 新撰雜一 三浦の山を歩くと
 後拾遺林下 志保の生田の杜の秋の色を
 後拾遺冬 山里の雪の音を聞く
 山歌集下 うつろふ山歌の歌
 玉葉集下 吹風の音を聞く
 同卷一 見るまゝの歌を詠む
 新古巻一 ともよまの歌を詠む
 拾玉集七 ともよまの歌を詠む
 子載巻一 ともよまの歌を詠む
 月清集上 ともよまの歌を詠む
 壬生二上 ともよまの歌を詠む
 新巻四 ともよまの歌を詠む
 同巻上 ともよまの歌を詠む
 同尺教 ともよまの歌を詠む
 風雅巻三 ともよまの歌を詠む
 後拾遺集 ともよまの歌を詠む
 拾遺巻末 ともよまの歌を詠む

後撰雜二 世の中を歩くと
 新千淋清 ともよまの歌を詠む
 後撰雜中 ともよまの歌を詠む
 後撰雜二 ともよまの歌を詠む
 河花雜上 ともよまの歌を詠む
 新拾遺三 ともよまの歌を詠む
 拾遺巻末 ともよまの歌を詠む
 古今雜清 ともよまの歌を詠む
 新撰拾遺一 ともよまの歌を詠む
 新古巻下 ともよまの歌を詠む
 新撰雜下 ともよまの歌を詠む
 山歌集下 ともよまの歌を詠む
 拾遺巻末 ともよまの歌を詠む
 玉葉集下 ともよまの歌を詠む
 後拾遺林上 ともよまの歌を詠む
 玉葉巻末 ともよまの歌を詠む
 壬生二下 ともよまの歌を詠む

前田百五郎

中京女景

有永實方外

大徳言通徳母

浄妙寺中興師

慈性法師

前大徳言元定

惟明親三

衣蓋由右臣

新撰拾遺春

前大徳言元定

新編古三	煥々の八岐のついで	ふかたのひびき	あまのついで
拾遺別	かみよつとやまのついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑下	いせのついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑上	花をよめるついで	さびしきついで	あまのついで
新編古三	山水のついで	さびしきついで	あまのついで
長秋詠下	水の上のついで	さびしきついで	あまのついで
新千巻一	古事記のついで	さびしきついで	あまのついで
金葉集上	万葉集のついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑二	古今和歌のついで	さびしきついで	あまのついで
古今賀	わがよのついで	さびしきついで	あまのついで
金葉集上	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
千載名目	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新千巻臨	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
風雅志一	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
拾遺古事	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで

新千巻臨	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
風雅志一	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
拾遺古事	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新千巻上	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
古今賀	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
金葉集上	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑二	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
長秋詠下	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新編古三	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑上	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新編雑下	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
拾遺別	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで
新編古三	吹風よたのついで	さびしきついで	あまのついで

拾玉集五

新柳雅二

風邪志二

拾遺志志二

拾玉集三

後の志三

玉葉志二

新藤吉霧旅

玉葉志二

新藤吉志三

後拾遺志

後古志三

同三

新藤吉志三

新葉器旅

新拾遺中

月影ハ... 前中絶言はる

師とらまて... 大止天皇

おそれね... 二流歌主の師

あひの... 後藤後藤の師

今つと... 大納言の師

うひの... 後藤後藤の師

後人の... 大納言の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

新葉志三

拾玉集一

拾遺志志二

大和御座

後拾遺志

草葉志

梅枝

後拾遺志

拾遺志志二

拾玉集三

同五

後拾遺志

玉葉志

長秋詠藻

新葉志下

十載秋紙

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

さつと... 後藤後藤の師

雜歌

後千友	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任吾れ松の露を如すじあり	とをさそをのよ	武範
新勅書下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後拾秋下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
壬生二不中	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾遺五首下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後千勅書	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
子我老傷	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後拾秋上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
月清集上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
お栗糺大	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾玉集三	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後千勅書	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾玉集一	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾遺冬	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範

後千友	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任吾れ松の露を如すじあり	とをさそをのよ	武範
新勅書下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後拾秋下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
壬生二不中	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾遺五首下	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後千勅書	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
子我老傷	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後拾秋上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
月清集上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
お栗糺大	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾玉集三	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
後千勅書	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
新勅書上	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾玉集一	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範
拾遺冬	任乃ののほろきほろき	とをさそをのよ	武範

風雅春中

うらやまきまのあはれ... 後人... 平時也

新撰雅上

そとにたけのこみ... 貫之

風雅春中

ふれゆくとあし... 後人... 貫之

五葉歌

風さじき... 後人... 貫之

同冬

伊勢... 後人... 貫之

後古冬

そとにたけ... 後人... 貫之

新撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅中

あつらひ... 後人... 貫之

五葉歌一

あつらひ... 後人... 貫之

同又

あつらひ... 後人... 貫之

壬生三品中

あつらひ... 後人... 貫之

拾遺五葉

あつらひ... 後人... 貫之

同下

あつらひ... 後人... 貫之

月清集下

あつらひ... 後人... 貫之

後撰拾遺

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅二

あつらひ... 後人... 貫之

五葉歌二

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

二十雅上

あつらひ... 後人... 貫之

伊勢拾遺

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

壬生三品中

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅中

あつらひ... 後人... 貫之

同

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅中

あつらひ... 後人... 貫之

後撰拾遺

あつらひ... 後人... 貫之

拾遺五葉上

あつらひ... 後人... 貫之

後撰雅二

あつらひ... 後人... 貫之

月清集上

あつらひ... 後人... 貫之

金葉冬

あつらひ... 後人... 貫之

新撰雅中

あつらひ... 後人... 貫之

後撰雅二

あつらひ... 後人... 貫之

後撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

金葉冬

あつらひ... 後人... 貫之

後撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

後撰雅上

あつらひ... 後人... 貫之

拾遺集 梅花の香ありてらん口きり
新千雅上 喜多しあれはる宿のひまを
拾遺集一 さふ葉はまは枝のあまき
風雅集 けきく宿とまのゆめのみぬ
後千尺教 若葉あまのつる人の影いさ
新葉雅中 和四の系入目をもるはまき
同善下 入目さく山のさくはさくさ
新拾遺三 待人多くさくしつや入目さ
新千雅上 入目さくはまきさくさ
山家集上 さやめくはまきさくさ
新葉集 若葉あまのつるはまき
後千尺教 けきく宿とまのゆめのみぬ
壬生二不中 神坂よ宿とまのゆめのみぬ
拾遺集 尺てくさくさくさくさ
風雅集上 初瀬山松原よ月にかさくさ
玉葉春下 喜多しあれはる宿のひまを
後千雅上 さくさくはまきさくさ
拾遺集教 白は乃さくさくさくさ

後千尺教 天の女もすくひくまは乃
拾遺集二 乙女ありはまのようさくさ
拾遺集上 白くはまのようさくさ
同上 けきく宿とまのゆめのみぬ
新拾遺 みの山乃まはまは乃
新勅賀 久くはまのようさくさ
後千尺教 さくさくはまきさくさ
壬生二不中 若葉あまのつるはまき
後千尺教 けきく宿とまのゆめのみぬ
拾遺集上 さくさくはまきさくさ
新古賀 若葉あまのつるはまき
後千尺教 けきく宿とまのゆめのみぬ
新葉雅上 若葉あまのつるはまき
後千尺教 けきく宿とまのゆめのみぬ
新千冬 若葉あまのつるはまき
拾遺集上 さくさくはまきさくさ

大上天
三位成賢
源頼家御
条三條親
文貞公
三位家衡
前關白太政大臣
後三位
前大納言

後拾冬 乙女の平ねのしるしをうけて
風雅賀 乙女の平ねのしるしをうけて
玉葉賀 乙女の平ねのしるしをうけて
同神祇 乙女の平ねのしるしをうけて
後拾冬 乙女の平ねのしるしをうけて
後千冬 乙女の平ねのしるしをうけて
新古冬 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺賀上 乙女の平ねのしるしをうけて
後拾撰春下 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺集一 乙女の平ねのしるしをうけて
山歌集下 乙女の平ねのしるしをうけて
風雅賀 乙女の平ねのしるしをうけて
長秋詠藻下 乙女の平ねのしるしをうけて
新拾賀 乙女の平ねのしるしをうけて
新古雅中 乙女の平ねのしるしをうけて

新撰貞女 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺集一 乙女の平ねのしるしをうけて
同又 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺集下 乙女の平ねのしるしをうけて
山歌集下 乙女の平ねのしるしをうけて
古今雅下 乙女の平ねのしるしをうけて
金葉秋 乙女の平ねのしるしをうけて
後古冬 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺賀上 乙女の平ねのしるしをうけて
新拾撰一 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺雅下 乙女の平ねのしるしをうけて
古今雅下 乙女の平ねのしるしをうけて
山歌集下 乙女の平ねのしるしをうけて
金葉秋 乙女の平ねのしるしをうけて
後古冬 乙女の平ねのしるしをうけて
拾遺賀上 乙女の平ねのしるしをうけて

皇太后御
院御
院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

院御

拾玉集二

衣敷ハ竹のさ枝よのききで

とくもかきけんふり

新撰古雅

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

前大僧正果守

新撰古雅

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

とくぬらふの枝をひ

山家集下

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

六条院正房

後撰冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

三位知家

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

中納言忠補

玉葉冬二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

待賢院持隆

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

江為基

後撰冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

能因法師

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同二

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

平生二系中

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

平常原

新撰古雅

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

源成社

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

天智院王

後撰冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

院持隆

新撰古雅

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

後撰冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

同六

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

玉葉冬

あつたはつたの神心木ふし

とくぬらふの枝をひ

右京藤原信光

新拾遺上 菅原谷乃戸... 大徳寺師賢
 後拾遺上 たるさ... 大江匡房
 新拾遺上 著る... 前本後雅
 壬生二系上 つれ... 法皇御
 新拾遺冬 きの... 夜東老後
 新拾遺上 極... 左近物種
 後古秋下 物... 定海
 拾玉集五 つ... 檀中納言
 壬生二系中 津... 夜東老後
 新拾遺冬 一... 檀中納言
 新拾遺上 様... 夜東老後
 新古秋下 松... 夜東老後
 新拾遺上 里... 夜東老後
 拾遺貞外 秋... 夜東老後
 新拾遺上 物... 夜東老後
 新拾遺上 物... 夜東老後
 拾遺貞外 今... 夜東老後
 月清集下 時... 夜東老後

拾玉集六 今... 夜東老後
 同七 郭... 夜東老後
 壬生二系中 多... 夜東老後
 新古秋下 時... 夜東老後
 拾遺貞外 物... 夜東老後
 新千秋下 多... 夜東老後
 拾遺貞外上 物... 夜東老後
 同中 今... 夜東老後
 壬生二系中 今... 夜東老後
 拾遺貞外上 秋... 夜東老後
 風雅集 物... 夜東老後
 新拾遺上 物... 夜東老後
 玉葉秋下 今... 夜東老後
 新拾遺上 物... 夜東老後
 拾玉集六 今... 夜東老後
 新千系二 今... 夜東老後
 新拾遺上 今... 夜東老後

壬生三上 言砂此瓦土乃其秋風下
同下 五のの月けのを會うつ
後撰巻四 かねたるを其の流後されハ
拾玉集三 同人乃わぬえらよ郭ハ
後撰巻四 かねたるを其の流後されハ
新葉雜別 秋りくても空もらぬ山果ハ
拾玉集四 かねたるを其の流後されハ
拾玉集六 かねたるを其の流後されハ
後撰撰別 かねたるを其の流後されハ
拾玉集外下 かねたるを其の流後されハ
後撰撰別 かねたるを其の流後されハ
新千秋下 かねたるを其の流後されハ
壬生三下 かねたるを其の流後されハ
新撰撰別 かねたるを其の流後されハ
玉葉雜二 かねたるを其の流後されハ

新撰撰別 かねたるを其の流後されハ
新千秋下 かねたるを其の流後されハ
玉葉雜二 かねたるを其の流後されハ
後撰撰別 かねたるを其の流後されハ
拾玉集六 かねたるを其の流後されハ
新葉雜別 かねたるを其の流後されハ
拾玉集外下 かねたるを其の流後されハ
後撰撰別 かねたるを其の流後されハ
新千秋下 かねたるを其の流後されハ
壬生三下 かねたるを其の流後されハ
新撰撰別 かねたるを其の流後されハ
玉葉雜二 かねたるを其の流後されハ

前大僧正
信生法師
法眼宗
依勢
如法法師
後三位隆教
右京定成
紫式部
大内
後醍醐天皇

拾玉集三

新撰拾冬

新撰秋下

長秋盤集上

風雅秋上

新撰春上

同下

新撰古冬

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

新撰春上

しらくも雪原のゆかりの光

細代まよふりつるまひひるま

立田河らねくくするおきあけ

お世ふさるるにせむれ橋をた

の情けくわかれぬもほろも

おかれも枝さきうも秋風

人心うさそほされはきそそ

つゝみるわの種をうりあんと

はのよみはらるるわりのうらみ

秋の夜のあそびもさそはれ

ゆれそよつねとほろもさそ

夕されは浦風さびしあまそ

里へ言ふ山風さびしそほ

ひもいさしそ下ひきのあま

世もさそはれはひん下細乃

人とも海もあかりの下の

今春そそ種より種はた

ゆきの世もさそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

惟明親王

源氏物語

中務

九条左大臣

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

中納言

後拾冬

新撰冬

拾玉集三

小成冬三

新撰冬二

山家集

停勢抄

後撰冬三

拾遺冬

山家集上

新撰冬三

新撰冬二

後撰冬三

新撰冬二

拾遺冬上

新撰冬

玉葉冬

新撰冬二

わさきかたはつひあつひ

雅はいのちよそそ

あつひもさそはれはひん

うめやじまはれはひん

年々も種をうりあつひ

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

あつひもさそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

と海へぬいそそはれはひん

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

新千巻二 秋の光景のいさよと下宿の
 千巻巻二 秋の光景のいさよと下宿の
 新千巻三 秋の光景のいさよと下宿の
 秋拾巻三 秋の光景のいさよと下宿の
 拾玉集七 秋の光景のいさよと下宿の
 新拾巻八 秋の光景のいさよと下宿の
 拾巻冬 秋の光景のいさよと下宿の
 同巻三 秋の光景のいさよと下宿の
 拾玉集一 秋の光景のいさよと下宿の
 秋撰雜口 秋の光景のいさよと下宿の
 秋拾巻傷 秋の光景のいさよと下宿の
 秋古巻心 秋の光景のいさよと下宿の
 新拾巻上 秋の光景のいさよと下宿の
 秋拾巻傷 秋の光景のいさよと下宿の
 秋葉雜口 秋の光景のいさよと下宿の
 秋撰巻八 秋の光景のいさよと下宿の
 秋葉春下 秋の光景のいさよと下宿の

千載雜中 志未定とみ山と下宿の
 秋初巻 秋の光景のいさよと下宿の
 壬生三下 秋の光景のいさよと下宿の
 秋古春下 秋の光景のいさよと下宿の
 秋雅雜上 秋の光景のいさよと下宿の
 秋雅巻二 秋の光景のいさよと下宿の
 壬生三下 秋の光景のいさよと下宿の
 秋初雜三 秋の光景のいさよと下宿の
 秋古巻八 秋の光景のいさよと下宿の
 秋拾巻下 秋の光景のいさよと下宿の
 秋拾巻雜二 秋の光景のいさよと下宿の
 同巻 秋の光景のいさよと下宿の
 秋古巻 秋の光景のいさよと下宿の
 秋衣三 秋の光景のいさよと下宿の
 拾玉集五 秋の光景のいさよと下宿の
 秋千巻心 秋の光景のいさよと下宿の
 古今雜下 秋の光景のいさよと下宿の
 金葉雜下 秋の光景のいさよと下宿の

新千巻二

千巻巻二

秋拾巻三

秋古巻心

新拾巻上

秋葉雜口

秋撰巻八

秋葉春下

千載雜中

秋初巻

壬生三下

秋古春下

秋雅雜上

秋雅巻二

壬生三下

秋初雜三

秋古巻八

秋拾巻下

秋拾巻雜二

同巻

秋古巻

秋衣三

拾玉集五

秋千巻心

古今雜下

金葉雜下

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

秋の光景のいさよと下宿の

長秋詠藻

山家集上

新秋三

拾遺三

風雅三

拾遺三

同中

新秋三

新秋三

風雅三

拾遺三

風雅三

拾遺三

風雅三

拾遺三

山家集上

新秋三

新秋三

大和物

長秋詠藻 奥つる冷かきぬ命あはれ

山家集上 名てふあさひのよしみあはれ

新秋三 はえてもやそけい乃又アハ

拾遺三 ちめゆゑぬあはれ秋のこころ

風雅三 つゆの乃雪あはれを秋のこ

拾遺三 秋のこころのこころを秋の

同中 つれと秋のこころを秋のこ

新秋三 さぬるに夕暮つてきし

新秋三 白雪あはれの中をゆく

風雅三 新秋三 秋のこころを秋の

拾遺三 秋のこころを秋のこ

風雅三 秋のこころを秋のこ

拾遺三 秋のこころを秋のこ

風雅三 秋のこころを秋のこ

拾遺三 秋のこころを秋のこ

山家集上 秋のこころを秋のこ

新秋三 秋のこころを秋のこ

新秋三 秋のこころを秋のこ

大和物 秋のこころを秋のこ

式部院

好忠

権中納言

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

新秋上人

山部集下

秋の上はあけ 月もさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺集上

秋のわらをばさつき 月

とよみとよみ 女もさつき

拾遺集上

白くはさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

新勅集上

白くはさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

玉葉旅

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺集二

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

秋十巻三

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

新勅集三

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

秋十巻二

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

月清集上

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

拾遺集下

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

新勅集上

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

秋十巻一

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺集上

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

新勅集上

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

秋十巻一

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

風雅社祇

あきさつき 秋もさつき

とよみとよみ 女もさつき

壬生二系中

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

新拾遺一

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺一

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

金葉秋

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

長秋歌集上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

秋十巻下

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

新古冬

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

長秋歌集下

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

後拾遺集上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

同上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

月清集上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

拾遺集上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

新古雜上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

同上

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

壬生二系下

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

風雅賀

つらつら 花のさつき

とよみとよみ 女もさつき

頁目

子哉神祇 すとらふ紙やとま代れ神も
 新古今 今少くもま代れつめつれを
 玉葉集一 今事と今やとま代れのま代
 新古今三 ちまらういそ山の松のま代
 後拾神祇 非傳は初とれて一林葉乃
 拾遺賀一 山ま代れ山のま代よ
 拾玉集七 作れま代ま代ま代ま代
 後古賀一 いそ山ま代ま代ま代
 後拾神祇 天地の神のたのての國なれ
 新古今集 後拾神祇 後拾神祇 後拾神祇
 拾遺賀上 いそ山ま代ま代ま代
 後拾神祇 後拾神祇 後拾神祇
 月清集上 後拾神祇 後拾神祇
 大和物語 後拾神祇 後拾神祇
 玉葉集六 後拾神祇 後拾神祇
 新古今 後拾神祇 後拾神祇
 拾玉集三 後拾神祇 後拾神祇

新古今二 後拾神祇 後拾神祇
 金葉集春 後拾神祇 後拾神祇
 壬生三上 後拾神祇 後拾神祇
 新古今集 後拾神祇 後拾神祇
 拾遺賀一 後拾神祇 後拾神祇
 壬生三上 後拾神祇 後拾神祇
 新古今集 後拾神祇 後拾神祇
 後撰集 後拾神祇 後拾神祇
 新古今集 後拾神祇 後拾神祇
 山歌集下 後拾神祇 後拾神祇
 壬生三上 後拾神祇 後拾神祇
 後夜一 後拾神祇 後拾神祇
 拾玉集六 後拾神祇 後拾神祇
 後撰集二 後拾神祇 後拾神祇
 拾遺賀上 後拾神祇 後拾神祇
 後拾神祇 後拾神祇 後拾神祇
 新古今 後拾神祇 後拾神祇

後二位家隆 後因法師

新勅雜言 吹まじりてきくはるれ山後り
 後拾遺 けりきりゆりゆりゆりゆりゆり
 拾遺自非上 あり麻もよそけりゆりゆりゆり
 後拾遺二 糸神のあみこのまはるゆりゆり
 拾玉集六 ちりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
 お葉集 ちりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
 拾遺雜下 春秋よわひゆりゆりゆりゆり
 大和ゆり ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 新古意 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 お葉集 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 後拾遺春 山よりのちりゆりゆりゆり
 新古意上 秋のちりゆりゆりゆりゆり
 長秋詠下 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 お葉集下 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 拾玉集三 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 風雅林中 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 お葉集上 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 古今意二 ちりゆりゆりゆりゆりゆり

前田白八倉

侍従頼有

大いさ

紀貫之

馬内侍

皇太后

中納公卿

後成

前大納言

拾遺一 ちりゆりゆりゆりゆりゆり
 新勅雜言 ちりゆりゆりゆりゆり
 後拾遺 ちりゆりゆりゆりゆり
 拾遺自非上 ちりゆりゆりゆりゆり
 後拾遺二 ちりゆりゆりゆりゆり
 拾玉集六 ちりゆりゆりゆりゆり
 お葉集 ちりゆりゆりゆりゆり
 拾遺雜下 ちりゆりゆりゆりゆり
 大和ゆり ちりゆりゆりゆりゆり
 新古意 ちりゆりゆりゆりゆり
 お葉集 ちりゆりゆりゆりゆり
 後拾遺春 ちりゆりゆりゆりゆり
 新古意上 ちりゆりゆりゆりゆり
 長秋詠下 ちりゆりゆりゆりゆり
 お葉集下 ちりゆりゆりゆりゆり
 拾玉集三 ちりゆりゆりゆりゆり
 風雅林中 ちりゆりゆりゆりゆり
 お葉集上 ちりゆりゆりゆりゆり
 古今意二 ちりゆりゆりゆりゆり

よる人

花山

皇太后

前中納言

院

補仁親王

上西院

和泉式部

村

赤松

拾玉集六

吾乃西より入るくも焼くもい

新葉春上

花を天にさす中し移中し記さく

伊勢物語

めりももあつたあつたあつたあ

拾遺書中

凡そ此の事あつたりくさうい

新勅雑中

浪子も吹上げの風のとまほよ

古今雜上

浪もささるたなやあつた死い

伊勢物語

ワあつたあつたあつたあつたあ

月清集上

細くけ人のあつたあつたあ

新千夜集

秋のそわわあつたあつたあ

拾遺集五

大しもあつたあつたあつたあ

新勅秋下

あつたあつたあつたあつたあ

拾玉集六

あつたあつたあつたあつたあ

同四

あつたあつたあつたあつたあ

新千夜集

あつたあつたあつたあつたあ

新撰冬一

あつたあつたあつたあつたあ

新千夜下

あつたあつたあつたあつたあ

玉葉冬二

あつたあつたあつたあつたあ

古今雜別

あつたあつたあつたあつたあ

風雅雜下

あつたあつたあつたあつたあ

拾玉集六

あつたあつたあつたあつたあ

須磨

あつたあつたあつたあつたあ

玉葉冬

あつたあつたあつたあつたあ

山赤集下

あつたあつたあつたあつたあ

拾遺雜中

あつたあつたあつたあつたあ

後拾遺雜中

あつたあつたあつたあつたあ

新千夜集

あつたあつたあつたあつたあ

拾遺書中

あつたあつたあつたあつたあ

月清集上

あつたあつたあつたあつたあ

後拾遺春上

あつたあつたあつたあつたあ

玉葉賀

あつたあつたあつたあつたあ

拾遺書中

あつたあつたあつたあつたあ

壬生二下

あつたあつたあつたあつたあ

新古夜

あつたあつたあつたあつたあ

後拾遺冬二

あつたあつたあつたあつたあ

十載冬二

あつたあつたあつたあつたあ

拾遺書中

あつたあつたあつたあつたあ

頼西

...

...

...

古今集下 老くは心のあやまりいふ事 雑 備前 備前 備前

後拾遺春上 喜しふみれしす山はく 雑 備前 備前 備前

新千代 赤あはぬんはさほほほき 雑 備前 備前 備前

新後拾遺上 さすも松千花はつらね 雑 備前 備前 備前

後古春下 雲りやあつたのほもさ 雑 備前 備前 備前

古今集上 わさあつと名なそそれ松花 雑 備前 備前 備前

伊勢物語 わさあつと名なそそれ松花 雑 備前 備前 備前

拾遺春上 天におもはるぬ花ゆへり 雑 備前 備前 備前

後古秋上 天ののほはあれて七夕乃 雑 備前 備前 備前

后撰冬 雲うあつるをいふはらう 雑 備前 備前 備前

壬生三系上 七夕たの酒乃川あはれ 雑 備前 備前 備前

拾遺身外上 さもわらわれあつらうさ 雑 備前 備前 備前

新勅秋上 織女のもろもろあつと 雑 備前 備前 備前

后撰冬 物らももはれあつらうの川 雑 備前 備前 備前

新花秋 あつらうあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

後拾遺上 天のつらあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

玉系秋上 わらわらあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

古今秋上 雲らあつらうあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

后拾遺雅 いろつらあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

後勅物語 つらあつらうあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

古今雅上 後山つらあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

新後冬一 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

拾遺春上 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

新勅雜言 やつらあつらうあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

後古冬言 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

新千尺教 物言山つらあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

同書上 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

山家集上 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

拾玉集上 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

壬生三系上 赤あはぬぬあつらうあつらう 雑 備前 備前 備前

類聚

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

備前 備前 備前

拾遺意 下 山部集下 雪をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺春上 朝方やまのいかに 白くしてやまの 又いかに 前朝方
 壬生三下 初まて神のいかに 白くしてやまの 又いかに 後村上院
 初葉春上 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後手書上 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 風雅雜上 初まて神のいかに 白くしてやまの 又いかに 後村上院
 新拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 新後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 同二 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後古雅別 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 同二 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに

後拾遺春上 朝方やまのいかに 白くしてやまの 又いかに 前朝方
 壬生三下 初まて神のいかに 白くしてやまの 又いかに 後村上院
 初葉春上 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後手書上 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 風雅雜上 初まて神のいかに 白くしてやまの 又いかに 後村上院
 新拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 新後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後拾遺一 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 同二 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 後古雅別 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに
 同二 山川乃氷をてぬる山海よりいかに 白くしてやまの 又いかに

新拾遺

後古雜詩

同雜上

後拾遺春

古今雜詩

拾遺集外上

拾遺集六

拾遺集二

大和相傳

後撰冬

同賀

拾遺集

山家集上

玉葉雜一

後千之四

壬生三下

拾遺冬

後撰雜四

後古雜詩 一月之間... 前御言資季

同雜上... 今御言資季

後拾遺春... 今御言資季

古今雜詩... 今御言資季

拾遺集外上... 今御言資季

拾遺集六... 今御言資季

拾遺集二... 今御言資季

大和相傳... 今御言資季

後撰冬... 今御言資季

同賀... 今御言資季

拾遺集... 今御言資季

山家集上... 今御言資季

玉葉雜一... 今御言資季

後千之四... 今御言資季

壬生三下... 今御言資季

拾遺冬... 今御言資季

後撰雜四... 今御言資季

後撰雜四... 今御言資季

壬生三下

後撰雜冬

新撰秋上

金系志下

後拾遺秋

拾遺雜上

長秋詠集

新撰台雜中

拾遺思事

明石集三

新千雅中

壬生三上

後撰

若菜下

新千雅上

拾遺會坐

古今書上

後拾春上

壬生三下... 皇太后後成

後撰雜冬... 崇徳院御

新撰秋上... 夜東侍實

金系志下... 前大御

後拾遺秋... 前大御

拾遺雜上... 前大御

長秋詠集... 前大御

新撰台雜中... 前大御

拾遺思事... 前大御

明石集三... 前大御

新千雅中... 前大御

壬生三上... 前大御

後撰... 前大御

若菜下... 前大御

新千雅上... 前大御

拾遺會坐... 前大御

古今書上... 前大御

後拾春上... 前大御

拾遺冬

家宿よりあつておもひおもひと

拾遺春

さみみ入し能りし海のさき

新拾遺

さぬかたのあはれしるる

後拾遺

あられね各のねしとせし

幻

おろしとする月日しきる

拾玉集一

あつてはるまきしるる

子我賀

かりけしるまはれ梅は

拾玉集三

たつたのち乃やの敷つ

同心

いひまじりあはれしる

壬生三上

いづるもあはれしる

後拾遺春上

人おれしるりねとせし

新拾遺

橋よりあはれしるる

千載冬

さうもあはれしるる

玉葉雜一

せうもあはれしるる

壬生三下

あひせつたれあはれし

山家集上

あつたのちしるる

月清集上

口のちのまき乃花園

ほ家元輔

康資

高橋宗成

志教

待賢院

後三位

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

源義朝

後拾遺集 乃と何ととまるはさふんしき 大いなる 後拾遺集 乃と何ととまるはさふんしき
 新撰拾遺 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜下 世もまらふとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 玉葉卷二 うつとまらふとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜下 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 同 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後拾遺集 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 金葉雜上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後拾遺上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 風雅賀 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後撰秋中 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰賀 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 拾遺雜春 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 拾遺卷下 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰古志 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 玉葉雜一 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後千雜下 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり

新撰古志上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後撰撰五 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰拾遺 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 拾玉集三 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 月清集上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後千雜中 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 同下 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜中 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 山吹集下 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 後撰雜別 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰古雜中 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰冬 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜上 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰拾遺 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰冬 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰拾遺 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり
 新撰雜中 志つとそきも空の世ありけり ありたまふとそきも空の世ありけり

長秋詠集下

ちりりくあははるるはるる

後醍醐天皇

新撰拾遺

風わきまひあけの世の閑

後醍醐天皇

千載冬

かゝるもよまの春をうそふ

後醍醐天皇

月清集下

まはの園わひのくはるる

後醍醐天皇

心野集下

葉のるいすうさうさう

後醍醐天皇

新撰拾遺

葉たかり移のるるさうさ

後醍醐天皇

五葉秋上

秋のねとひりやかま

後醍醐天皇

拾遺百葉

あふさふ山乃山まはるる

後醍醐天皇

同上

かもしつし山はつたて

後醍醐天皇

月清集上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

拾遺集

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

同

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

後醍醐集下

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

拾遺集上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

五葉秋上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

後醍醐集下

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

拾遺集上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

五葉秋上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

くれぬて山はるる

新撰拾遺

月清集上

こぬ人ばさのうらうら

後醍醐天皇

拾遺集

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

拾遺集

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

後撰秋下

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

後古冬

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

後撰春上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

月清集上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

千載冬

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

同

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

風雅春上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

月清集上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

玉葉雅上

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

新撰拾遺

あふさふあふさふあふ

後醍醐天皇

